

総合計画審議会の意見に基づく主な修正箇所

No.	頁／行	項目	意見	対応	回／部会
1	1頁 7行	基本構想 1. まちづくり のビジョン	『ともに歩み、ともに創る「温故創しん」 会津若松』は、あいづ創生市民会議において 出されたテーマであるが、その際「しん」に ついては、その平仮名の理由がわからない。 市民会議では様々な漢字が入るとしており、 それらの文字について注釈で記述してはどうか。	ひらがなの「しん」が意図する漢字を記述 しました。	第4回
2	2頁 3-4行	基本構想 2. まちづくり のコンセプト	「まちづくりのコンセプト」の前段に人口 構成に関する記述があり、基本計画と重複し ている。「子どもの数が少なく、高齢者が多 い構成となる」としている。地域の活力とい った点では労働力人口に関する記述が必要で はないか。	基本構想から記述を削除し、基本計画の中 で整理しました。	第4回
3	2頁 6行	基本構想 2. まちづくり のコンセプト	「まちづくりのコンセプト」の一つ目に、 「人が輝くまちへ～未来へつなぐひとづくり ～」とあるが、政策の柱にも「未来につなぐ ひとづくり」とある。同じことを記述してい るわけではないので、整理すべきと思う。	まちづくりのコンセプトの「未来へつなぐ ひとづくり」の記述を削除しました。	第4回
4	2頁21行 ～ 3頁24行	基本構想 2. まちづくり のコンセプト	視点3「持続可能なまちへ」と以下に続く 「しごとづくり」「スマートシティ会津若松 」「公共施設施設、行政サービスの最適化」 といった項目の関係がわかりにくい。	視点で掲げた3つの点が計画全体を貫く大 きなテーマ＝コンセプトであるので、まず大 項目の「視点」といった表現を「テーマ」に 変更しました。 3つ目の「持続可能なまちへ」は「持続的 に進化するまちへ」とし、まちづくりのビジ ョンとの整合性を持たせるとともに、その考 え方を記述しました。 「しごとづくり」「スマートシティ会津若 松」等については、「持続的に進化するまち づくり」の中の「視点」として項目立てしま した。	第4回

No.	頁／行	項目	意見	対応	回／部会
5	4頁7-26行 ～ 5頁10-26行	基本構想 3. 総合計画の 基本フレーム ■計画の構成	計画の構成について、「基本計画」で体系図を示しているが、むしろ「基本構想」に全体の体系を表記すべきではないか。	基本構想に計画全体の体系図を記述し、基本計画には「基本計画」の中の構成を示しました。	第4回
6	11頁 16-21行	基本計画 第2章 政策目標2 ■政策の全体像	「また、農林業や～」の文章の中で、林業については木質バイオマス発電所での木材の活用が主眼であるような印象を受けてしまうのではないか。	木質バイオマス発電所の記述を削除しました。	第4回
7	17頁	基本計画 第3章 政策・ 施策 他	計画では様々な場面で「まちづくり」といった表現が使われているが、市民にとって、公共施設施設や都市計画のようなハードの整備の意味での「まちづくり」なのか、会津若松市全体の将来をつくっていくといった大きな「まちづくり」なのか、区別ができない。表現を整理してはどうか。	「まちづくり」の表現は、基本的に本市全体の将来をつくっていく意味で用い、ハード整備を主とするものには極力使わないよう整理しました。 例えば「安全、快適なまちづくり」は、「安全、快適な基盤づくり」と修正しました。	第4回
8	17頁	基本計画 第3章 政策・ 施策	「3 生活の基盤となる雇用の創出」という施策があるが、「雇用」の表記では一次産業や自営業者が含まれないのではないか。	「雇用」を「仕事」へ変更しました。	第8回
9	20頁 14-16行 21頁 4-5行	基本計画 第3章 政策分野2. 学校 教育	肥満については、運動だけでなく食育もセットで考えたらどうか。	「施策3. 健やかな心身の育成」において、運動と食育の取り組みを位置付けました。	第6回 第2部会
10	21頁 7-9行	基本計画 第3章 政策分野2. 学校 教育	学校教育の中での障がい者教育を位置づける必要があるのではないか。また、障がい児の親への支援をどうするのか。さらに、障がい児の年齢に応じた支援の仕方を考えて欲しい。	「政策分野2. 学校教育」の中に、「施策4. 特別支援教育の充実」を位置付けました。	第6回 第2部会
11	26頁 30-32行	基本計画 第3章 政策分野7. 歴史 ・文化	無形の歴史・文化の伝承を位置付ける必要があるのではないか。	「施策3. 歴史資源・伝統文化の保存・継承」において位置付けました。	第6回 第2部会

No.	頁／行	項目	意見	対応	回／部会
12	31頁 22-23行	基本計画 第3章 政策分野11. 森林 ・林業	林業分野では、木材やチップの加工設備に対する支援はあるが、需要拡大に対する取組み、支援が弱い。 森林材の需要をしっかりと創っていく取組みがないと、林業を継続できないため、需要を創出が大切ではないか。	間伐材のみに捉えられてしまわないよう、記述を修正しました。	第5回 第2部会
13	33頁 11-12行 25-28行	基本計画 第3章 政策分野13. 企業 立地・産業創出	ここで示しているベンチャーはITベンチャーのみか。 間口を広く創業したいと思っている方を支援することが必要ではないか。	ベンチャーという言葉は、「ITベンチャー」に限定した表現ではありませんが、より分かりやすく「起業支援」と表現しました。	第5回 第2部会
14	35頁 14-16行	基本計画 第3章 政策分野15. 観光	風評により修学旅行客は大きく減少しており、しっかりと修学旅行客を回復させなければならぬことを記述すべき。	着眼点に明記しました。	第5回 第2部会
15	47頁 7行	基本計画 第3章 政策分野24. 公園 ・緑地	公園全体の施策であるならば、着眼点の「まちなか」という表現は見直しが必要ではないか。どうしても中心市街地をイメージしてしまう。	中心市街地に限定したものではないため、誤解を避け、「まち」へと表現を修正しました。	第6回 第1部会
16	47頁 15行	基本計画 第3章 政策分野24. 公園 ・緑地	足りないのは緑化の取組であり、公園施設ではないため、そのためには町内会の力が必要ではないか。新興住宅地の緑地をどう魅力的にしていかがが課題ではないか。協働の視点が必要ではないか。	緑化美化の推進の記述の前に、「市民協働」の視点を加えました。	第6回 第1部会
17	48頁 15行 30-31行	基本計画 第3章 政策分野25. 生活 ・安全	身近な公共施設に行けば何らかの対応ができるような仕組みをつくっていただけるとありがたい。	市民に身近な相談体制についての記述を加えました。	第5回 第1部会
18	51頁 7行	基本計画 第3章 政策分野28. 雪対策	除雪機械の確保だけでなく、オペレーターの確保も重要。どう取組んで行くのかが課題ではないか。	オペレーター確保の課題についても記述しました。	第6回 第1部会

No.	頁／行	項目	意見	対応	回／部会
19	51頁 19-20行	基本計画 第3章 政策分野28. 雪対策	目指す姿に記した「事業者と市民との協働」はメッセージとしてよいが、具体的に何をしたらよいのかがわかるよう取組を記載してもよいのではないか。	情報の共有化により市民協働の除排雪を推進する旨、記載しました。	第6回 第1部会
20	53頁 4行	基本計画 第3章 政策分野30. 道路 橋梁	着眼点や施策にあるように、目指す姿に「安全」の文言は必要ではないか。	記述に反映しました。	第6回 第1部会
21	54頁 19-20行	基本計画 第3章 政策分野31. 公共交通	公共交通ネットワーク全体の再構築というならば、タクシーの活用の視点も必要ではないか。 10年後を見据えた交通ネットワークを考える必要がある。また、車輛の小型化とデマンド化が必要になるのではないか。	「路線バスを中心に、鉄道やタクシーなど多様な交通形態の選択・連携」の記述に反映しました。	第5回 第1部会
22	54頁 22-23行	基本計画 第3章 政策分野31. 公共交通	中心市街地に無料駐車場を確保するか、デマンドタクシーなど郊外からの公共交通手段を確保するなどの取り組みが必要ではないか。	「観光振興や中心市街地活性化、健康増進などのまちづくり施策と連携」を位置付けました。	第5回 第2部会
23	58頁 19-21行	基本計画 第3章 政策分野35. 情報 通信技術	市民レベルでスマートシティを推進できる人材の育成や市民の巻き込みをして欲しい。	「施策1. ICTへの興味関心・リテラシーの向上」の記述に反映しました。	第5回 第1部会
24	60頁 10-11行 21-22行	基本計画 第3章 政策分野37. 交流 ・移住	被爆地との交流について、政策分野のタイトルと考えると違和感がある。書き方として「意識を啓発するために被爆地と交流していく」という表現にする方が違和感がないのではないか。（交流を主眼とし、交流の結果として、平和意識が醸成されるという書き方したらどうか。）	「平和意識の醸成」を交流による副次的なものとし、表現を改めました。	第7回 第1部会
25	61頁 12-14行	基本計画 第3章 政策分野38. 大学 等との連携	ICTの表現が強いので、実際に多く地元に残っている短期大学部についての記載が必要ではないか。	「短期大学部」についても記述に加えました。	第5回 第1部会

No.	頁／行	項目	意見	対応	回／部会
26	62頁 21-22行	基本計画 第3章 政策分野39. まち の拠点	「合併特例債発行期限の延長を有効に活用しながら」とあるが、所詮は借金であり、この表現はいかがなものか。	もとより、起債が可能であることから新市建設計画を推進するものではないことから、同表現を削除します。	第7回 第1部会
27	65頁 18-19行	基本計画 第3章 政策分野41. 行政 運営	着眼点において、広域連携の必要性の記述が重複しているのではないか。	着眼点3点目に集約して記載しました。	第7回 第1部会
28	67頁 14行	基本計画 第3章 政策分野42. 財政 基盤	「窓口のバリアフリー化」とあるが、政策分野21との関連からは、「ユニバーサルデザイン」とすべきなのではないか。	そのとおり修正しました。	第7回 第1部会